



## 星はどうして黄色く見えるの

### 星の表面の温度によって、星の色がちがう

夜空の星をながめていると、星は全体に、黄色く見えますが、一つ一つの星をよく見ると、赤い星、黄色い星、青白い星などに、見分けることができます。

太陽と同じように、自分でかがやいているこう星の色は、表面の温度と深い関係があります。赤い星の表面の温度が、いちばん低く、黄色から青白い色へと、温度が高くなっていきます。

赤い、さそり座のアンタレスの、表面の温度は約3500<sup>ドシー</sup>、黄色い太陽(太陽も星の一つ)は約6000、青白いこと座のベガは約9500です。

### わく星の色は、表面の土や大気によってちがう

火星は、アンタレスのように、赤い色をしています。それは、火星の表面の土にさびた鉄がふくまれているためです。

金星は、二酸化炭素の厚い大気でおおわれています。そのために、太陽の光をよく反射するので、金色にかがやいて見えるのです。

地球は、宇宙から見ると青い色をしています。それは、地球の大気や水が、太陽からの青い光を散乱(ばらばらにちらす)させているからです。(監修・国司 真)

